

属人的な手書き作業から脱却し 事務処理の時間と手間を大幅に削減 バックオフィス業務のデータ活用をサポート



導入の狙い

- ・手書きや手計算による事務処理の時間と手間の削減
- ・システム上でロットトレースを実現したい

導入システム

- ・基幹業務システム
『SMILE V 2nd Edition 販売』
『SMILE V 2nd Edition 人事給与』

導入効果

- ・給与明細書の作成負担が大幅に削減
- ・属人業務から脱却し、月末業務の負荷を軽減
- ・社内での情報共有が促進された

USER PROFILE

関東梯子株式会社

【業種】製造業

【事業内容】消防用積載梯子、消防訓練用資機材などの製造・販売

【従業員数】31名(2025年1月現在)



2025年1月取材



SMILEシリーズ導入によって事務処理負担の大幅削減とともに、情報共有も実現した

関東梯子株式会社は、消防車に搭載する「消防用積載はしご」の製造で国内トップクラスのシェアを誇る企業だ。埼玉県幸手市に本社と工場を構え、顧客は全国に広がる。同社は、手書きで処理していた販売管理と給与の業務をSMILEシリーズ導入によってデジタル化し、これまで4～5日かけていた給与明細書作成にかかる時間を半日に激減させた。手書き作業による書類の記載ミスや手計算の誤りをなくし、社内では必要な情報が共有できる環境を実現するなど、SMILEはバックオフィス業務に顕著な効果を上げている。

顧客の要望に柔軟に応じ、 最適な消防用積載はしごを製造

関東梯子株式会社は、もともとは工事現場などで使用する鉄製の脚立兼用はしごを製造していた。その技術力が高く評価され、1960年代に東京消防庁から「従来の木製はしごから、伸縮する鉄製はしごを製造してほしい」との要望を受けたことを契機に、以来、伸縮式3連はしごや折りたたみ式はしごの製造に力を注ぎ、同分野で国内トップクラスの企業へと躍進している。

消防用積載はしごには、主に鉄製、ステンレス製、アルミ製、チタン製の4種類があり、最も災害現場などで活用されているのはチタン製だ。強度があるうえに軽く、機動力を得られるため、東京消防庁やさいたま市など主要都市ではより多く採用されている。

同社の工場では、チタン製のパイプなどの鋼材を仕入れて、一定の長さに切断し、溶接しながら組み立てを行っている。たとえば、3連はしごであれば、滑車式ロープを用いて下段(1連)から中段(2連)を引き上げ、そこからさらに上段(3連)を引き上げる構造となっている。一見、製造工程も製品もシンプルに見えるが、火災現場という灼熱の過酷な環境での使用に耐えられるだけの高い品質を備えていることはもちろん、安定して伸ばすことができるように



ステンレス製はしごの溶接作業(左)とチタン製はしごを組み立てる様子(右)。
チタン製の3連はしごは長さが約8.7mに達する物もあるが、重量は30kg程度と消防士が一人で持ち運ぶことができる



随所に細かい安全性を保つ工夫が施されている。

代表取締役の大貫 秀人氏は、自社の製品について次のように語る。「弊社の強みは、はしごの利用環境に適した柔軟なカスタマイズができる点です。寒冷地であれば、路面が凍結するので底部にスパイクのような突起物を付けて、滑らずに固定できるように仕様が求められます。自治体ごとに使用方法はそれぞれ異なりますが、弊社ではそうしたご要望にも満足いただけるはしごを製造しています」

手書き処理からの脱却、 基幹業務のシステム化へ

かつて同社では、販売管理と給与の業務をベテラン社員がすべて手書きで処理していた。そのため、請求書や給与明細書などに計算ミスや書き間違いが生じた場合は、一から書き直しが必要で、事務処

理にかかる手間は大きかった。さらに事業規模が拡大するにつれ、負荷は増大していったという。そこで、ベテラン社員の定年退職を機に、事務処理の効率化を目指して販売管理と給与業務のシステム化に着手した。とはいえ、その道のりは容易ではなかった。

「これまではすべてが手書きのノート管理で、Excelすら使用していないゼロベースからのスタートでした。そのため、どのようなシステムを導入すればいいのか当初はまったくわからなかったのですが、そうした中、リコージャパンさんを通じてOSKさんのSMILEシリーズを知りました」と大貫社長は話す。

基幹業務のシステム化のために、2018年に『SMILE BS 2nd Edition 販売』『SMILE BS 2nd Edition 人事給与』を導入。その際に請求書のレイアウト変更はしたものの、特別なカスタマイズは施して

代表取締役
大貫 秀人氏

「OSKさん、リコージャパンさんともに、要望をすぐに対応してくれる非常にありがたい存在です。こういうことはできないかと相談すると具体的な提案をしていただけたところも頼りにしています」

業務課
大熊氏

「見積書の作成、管理は、現在はExcelですが、将来的には『SMILE V2 販売』で見積書作成から受注管理までつなげていきたいです」



業務課
梓澤氏

「先日、消防用積載はしごの検査が完了したので、在庫処理や在庫管理を行っている最中です。『SMILE V2 販売』で一貫して管理が行えるので、とても効率的です」



いない。当初こそ、これまでとの違いに戸惑ったというが、短期間で円滑な稼働を実現している。

「マスター登録の処理では、どの項目に何を入力すればよいのかがよくわからずに、最初は少し戸惑いでしたが、作業自体は簡単だったのでその後は特に問題ありませんでした」と業務課の大熊氏は当時を語る。疑問解決に役立ったのがサポートセンターだ。「何かわからないことがあっても、サポートセンターに電話をすれば、リモートで同じ画面を共有しながら丁寧に教えてくださるので大変助かっています」とサポート体制の充実も魅力の一つだと語る。

その後、2023年に『SMILE V 2nd Edition 販売』(以下、『SMILE V2 販売』)と『SMILE V 2nd Edition 人事給与』(以下、『SMILE V2 人事給与』)にそれぞれバージョンアップ。さらに、2024年12月には『SMILE V 2nd Edition 販売 ロット管理業務オプション』(以下、『ロット管理業務オプション』)を追加導入し、Excelで管理していた製品のロットレース(履歴追跡)をシステム上で確認できるように業務改善を図っている。

SMILE上で トレーサビリティも実現

販売代理店から注文を受けたら工場ではしごを製造し、完成品は消防法第21条に基づき、検査機関の受験に適合した後

に所定納期で出荷を行う。『SMILE V2 販売』では、受注～出荷～売上処理を行っており、検査の結果も登録している。

業務課の梓澤氏は、「この検査に合格して初めて在庫となり、そこから『SMILE V2 販売』の管理対象となります」と話す。

また、『ロット管理業務オプション』の導入後は、納品した製品の経年劣化による破損修理や、納品先からの依頼でメンテナンスを実施する際にも『SMILE V2 販売』で情報が確認できるようになり、重宝しているという。

販売代理店からの問い合わせに対して業務課一同は、「過去に納品した製品が、いつ製造して、どのような部品を使っているのかロット番号を入力するだけで確認できます。従来は、過去の伝票を大変な時間と手間をかけて調べていたので、その差は歴然としています」と話すように負担が軽減された。

SMILEシリーズの導入は、社内では必要な情報の共有にもつながった。同社のユーザーは主に自治体のため、商談スタートから予算確保、発注までの期間が数年がかりといったケースも珍しくない。製品の使用期間も長期にわたるため、過去の情報をさかのぼる機会が頻繁にある。しかし、過去の帳票は、各担当者のデスクや倉庫の中に保管されていたため、必要なときはそれぞれのデスクや倉庫をしらみつぶしに調べる必要があったのだ。それが、

キーワードを入力すれば、誰でも必要な情報を即座に確認できるようになったメリットは大きい。

業務課一同は、SMILEが製品ごとの販売台数集計にとっても役立っていると話す。「これまではデータ出力してからExcelでグラフを作成していましたが、『SMILE V2 販売』上で直接グラフ作成する機能があると教えていただいたので、今後、積極的に活用していきたいと思います」と業務課の上村氏は語る。

総務課の小林氏は、「私の入社はSMILEシリーズ導入後ですが、以前はすべて手計算で請求書を手書き作成していたと聞いて驚いています。今では請求書の発行はもちろん、得意先別の売上順位表などもシステム上で簡単に出力できるので助かっています」と話す。

5日かかっていた給与業務は 半日で完了する仕組みへ

SMILEシリーズ導入によって一番実感していることは、日常業務をスピーディに効率良く行えるようになった点だ。以前は月末の経理や給与業務は多忙を極め、計算を一つでも間違えると、最初から書き直さなければならない状況だったため、その時間と手間が削減された効果は非常に大きいという。

総務課の大貫氏は、「パート従業員は、正社員と違ってそれぞれ時給の単価や勤

業務課
上村氏



「これまでExcelで作成していた帳票がSMILEですぐ出力できるのは、便利ありがたいです」

総務課
小林氏



「SMILEの機能をいろいろ試していると、新しい発見があります。これからも仕事に役立つ使い方を調べていきたいと思っています」

総務課
大貫氏



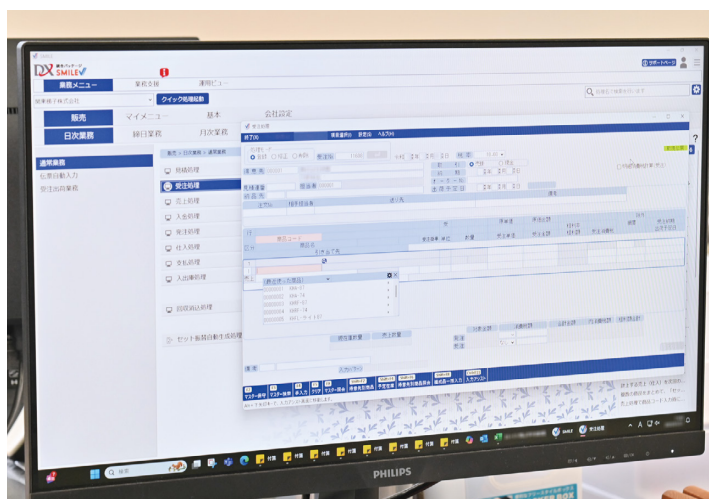
「社会保険料の変更について、サポートセンターに電話で相談したことがあります。すぐに、SMILEの設定の変更方法を教えていただき、本当に助かりました」

務時間が異なります。かつてはタイムカードを基にすべて手計算で行っていたので膨大な時間と手間がかかっていました。現在もタイムカードの運用はそのままですが、『SMILE V2 人事給与』に従業員ごとの時給単価などを登録しておけば計算は自動で、金額訂正も簡単、社会保険料の算出も同様です。4～5日かかっていた給与明細書の作成業務は、わずか半日程度で完了するようになりました」と効果を語る。

年末調整は、毎年、税理士事務所まで出向き、大量の紙資料を手渡して源泉徴収票を作成してもらっていた。しかし、『SMILE V2 人事給与』で源泉徴収票を作成し、税理士への確認依頼が必要な場合は、PDFデータを送信するだけ、という運用に変わったおかげで、税理士事務所への訪問回数は激減している。

すでに導入から数年経過しているが、今でも利用している最中に、「こんな便利な機能があったのか」と気づくケースも多いという。『SMILE V2 人事給与』に登録されている従業員情報から宛名ラベルを簡単に作成できることに気付いたのも最近だ。まだ活用できていない機能について、今後も運用に合わせて知っていききたいという。

同社では今後、請求書や給与明細書のWeb送信や、『SMILE V2 人事給与』と連動した勤怠管理システムの導入をも検討している。将来的には、グループウェ



『SMILE V2 販売』の受注処理画面

アのセールスマネジメント機能を用いて、受注データの把握だけでなく、顧客情報や商談の進捗状況を共有化していくことも視野に入れている。



関東梯子株式会社のホームページ

<https://www.845.co.jp/>

お問い合わせ